

## 平成28年度 活動支援事業の実施団体と取り組み内容

### 1 語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭

#### (1) 団体の概要

- ① 活動開始年月 平成22年1月
- ② 登録会員数 10人
- ③ 通常の活動内容 語り・ひとり芝居等の公演
- ④ 助成を受けた実績（直近）  
平成27年度協働のまちづくり活動支援事業 75,000円

#### (2) 補助の対象となる事業の説明

事業名 「えべつ俄（にわか）」

事業の内容

- ① 対象 全国及び江別市民
- ② 目的 江別市民のふるさと感情を盛り上げ、対外的には、江別の良さをアピールする。
- ③ 実施内容 「俄（にわか）」という即興劇を通して、江別の良さをアピールする。
- ④ 効果・継続性 江別市民に、この地域の特殊性、優位性を意識させ、郷土意識を盛り上げる。

### 2 北海道サブカルEXPO実行委員会

#### (1) 団体の概要

- ① 活動開始年月 平成26年2月
- ② 登録会員数 5人
- ③ 通常の活動内容 イベント企画・開催
- ④ 助成を受けた実績（直近）  
なし

#### (2) 補助の対象となる事業の説明

事業名 北海道サブカルEXPO

事業の内容

- ① 対象 全道及び江別市民
- ② 目的 「北海道サブカルEXPO」というイベントを企画・開催し、江別の活性化を図る。また、イベントを通じて江別の魅力をPRし、集客を図る。
- ③ 実施内容 ・秋分の日北海道サブカルEXPO（イベント）開催

- ◇ボカロ・ファン・メイド・ライブ
- ◇ステージライブ
- ◇コスプレダンパ
- ◇ギャラリー（撮影ブース、展示等）
- ◇物販

・ボカロ・ファン・メイド・ライブの出張

- ③ 効果・継続性 コスプレやダンパを楽しみたい、コスプレイヤーやボカロライブを見たい等を目的に、道内各地から北海道サブカルEXPOイベントに来てもらう。また、江別産の食品やグッズなどを販売し、経済効果が見込まれ、江別の認知度を向上させる。

### 3 江別創造舎（協働の相手方：のっぽろ七丁目放送局）

#### （1）団体の概要

- ① 活動開始年月 平成19年1月
- ② 登録会員数 3人
- ③ 通常の活動内容 地域文化振興活動
- ④ 助成を受けた実績（直近）  
平成27年度協働のまちづくり活動支援事業 75,000円

#### （2）補助の対象となる事業の説明

事業名 江別の文化・歴史を語る！つなぐ！語り部の記録

事業の内容

- ① 対象 江別市民
- ② 目的 江別の文化・歴史に関して精通した方々による語り部記録をDVD化し、次世代に江別の有形財として残すことで、江別の文化振興活動の一助とする。
- ③ 実施内容
  - ア 江別の文化、歴史を題材として、対象者を選出
  - イ シナリオ作成
  - ウ 対象者に取材
  - エ 取材内容を映像化
  - オ 映像編集し、DVD化
  - カ 取材の概要書の作成
- ④ 効果・継続性 江別の文化・歴史を次世代に繋ぐ伝承ツールの役割を果たす。また、DVDを公共施設に配布することで、いつでも、だれでも視聴可能になる。

#### 4 フォーラム野幌の森 (協働の相手方：日本野鳥の会 江別支部)

##### (1) 団体の概要

- ① 活動開始年月 平成12年1月
- ② 登録会員数 16人
- ③ 通常の活動内容 自然保護活動
- ④ 助成を受けた実績(直近)  
平成27年度協働のまちづくり活動支援事業 60,000円

##### (2) 補助の対象となる事業の説明

事業名 未来に残そう野幌原始林

事業の内容

- ① 対象 江別市民
- ② 目的 世界的に著名な自然遺産「野幌原始林」を江別市民の財産として永続的に守っていくため、利活用の仕方を啓蒙する活動を行う。
- ③ 実施内容 ・シンポジウムの開催と啓蒙活動  
・パンフレットの増刷、配布
- ④ 効果・継続性 「野幌原始林」の存在意義を内外に周知することにより、より一層江別市の良さをアピールすることができる。また、市民の意識が変わることで、未来に続く「野幌原始林」を創造することができる。

#### 5 江別子ども劇場

##### (1) 団体の概要

- ① 活動開始年月 昭和52年2月
- ② 登録会員数 80人
- ③ 通常の活動内容 年数回程度、プロの劇団の舞台鑑賞。その他、キャンプ、スキー、こどもまつりなどの企画・運営。
- ④ 助成を受けた実績(直近)  
平成27年度協働のまちづくり活動支援事業 105,000円

##### (2) 補助の対象となる事業

事業名 江別子ども演劇クラブ

事業の内容

- ① 対象 小学生から中学生
- ② 目的 演劇を通して、子どものより豊かな表現力を身につけることと、人とのコミュニケーション能力を高める。
- ③ 実施内容 ・月2回、講師による基礎練習から演技。振付の指導を受ける。

- ・ 11月のこども文化祭に出演
- ・ 7月アートスペース外輪船のイベントに出演
- ・ 市内福祉施設訪問

④ 効果・継続性 人とのコミュニケーションを楽しめることで、人との関わりを積極的に作ろうとする子どもが増え、周りに交流の輪が広がることに期待できる。また、生の舞台を楽しむ人が増えることで、文化の質の向上も期待できる。